

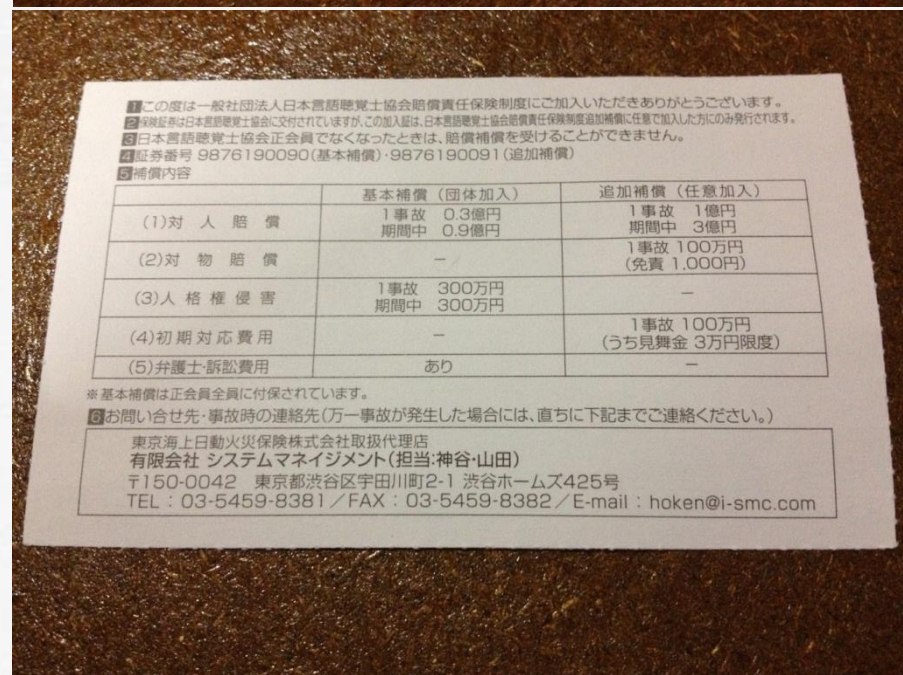
想定外は想定内？

ゆきよしクリニック 言語聴覚士 池浦 一樹

まとめ



「想定外」



危険因子

日本人の危機管理能力

何か起きたら考えよう、どうにかなる
横断歩道みんなで渡れば怖くない

follow the fortune (運命に従う)



where there is a will , there is a way!
(意思のあるところに道はある)

医療・介護の現場では...

→ 対人間

(ミスひとつが死に直結する場合も)

→ リスクのるつぼ

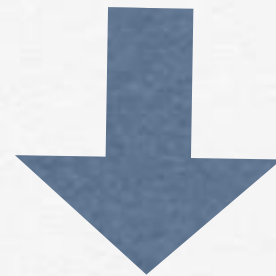
(想定外では済まされない場合も)

リスク(危機)

想定内

想定外

「まさか」意識



「～かもしれない」意識

まさか意識がよんだトラブル

症例：36歳 女性（事故後頭部外傷）

基本情報：一人暮らし（両親ともに死去）

以前、家族と交流のあった方が養父となっている。養父は某福祉施設の施設長を務めていた。

主訴：ご飯のときによくむせる、真っ赤になる
誤嚥性肺炎を繰り返す

本人の状態

覚醒状態不良で高次脳機能障害が著明。
常時、痰がらみが聞かれ不顕性誤嚥が疑われた。
発語は困難で簡単な挨拶が覚醒状態のいい時に行える程度。理解力も低下している。筆談でコミュニケーションをとる事もある。
日常生活動作は全介助で24時間ヘルパーを利用している。

訓練の内容

- 1 支援者への食事介助の方法
- 2 食形態の選定
- 3 口腔ケアを中心とした間接的嚥下訓練

介助方法や食形態に関してヘルパー、相談員に対しアドバイスを行うも他業務もあり定着は望めなかった。担当者会議時等、新潟大学嚥下外来を促す。主治医からも促され嚥下外来受診し食形態について調整を進めていた。

想定内トラブル

- ・誤嚥性肺炎、発熱へのトラブル
- ・窒息のトラブル



想定外のトラブル

『キス』『キス』まさかの『キスされた』

今回の症例の場合

- 重度高次脳機能障害を有していた
- 重度摂食・嚥下障害を有していた

不十分な対応

- × 口腔ケア時マスク着用の徹底不十分
- × スタッフ間の連絡帳記帳不足
- × 養父・相談員への訓練内容の報告不足

医療訴訟

民事・刑事裁判の増加

- 2007.10 患者のダイヤのピアス紛失
- 2006.10 「言動がけしからん」調停申立
- 2007.9 家族への説明がなかった
- 2005.10 食事中の窒息



一年間の追加保証加入

¥ 1,600



保証で守られた「家族の笑顔」

priceless